

ワイドアタック™ D 1キロ粒剤

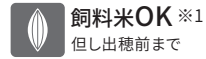
水稲用除草剤

水田の中～後期雑草を、2成分で防除。

- ・中後期の雑草防除に水を張ったまま使える1キロ粒剤。
- ・ノビエ、広葉、多年生の難防除雑草に優れた効果。
- ・じっくり枯らすベノキススラムとダイムロン配合。



ノビエから広範な雑草を、
粒剤で、湛水処理で。



適用雑草と使用方法

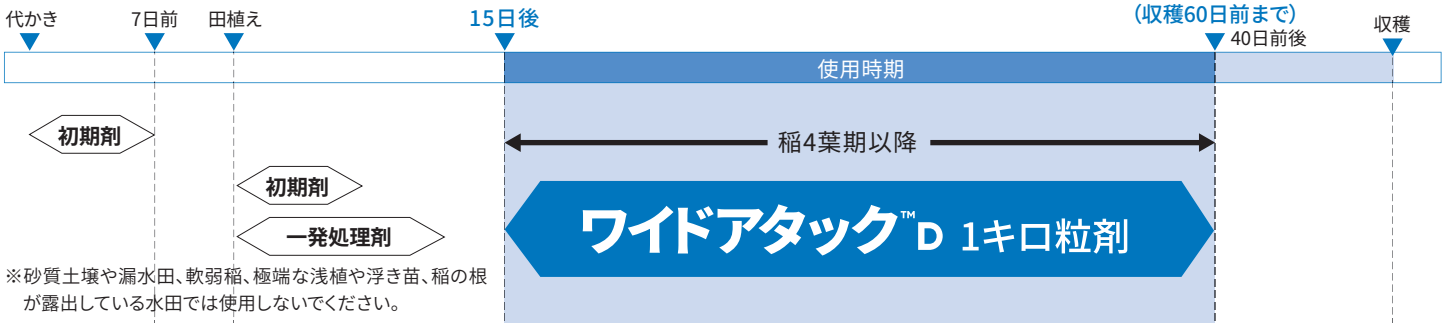
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	総使用回数*	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、ヒルムシロ、セリ、シズイ	移植後15日～ノビエ5葉期 (稲4葉期以降) 但し、収穫60日前まで	1kg	本剤:1回 ダイムロン:3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内) ペノキスラム:2回以内	湛水散布または無人ヘリコプターによる散布
直播水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲3葉期～ノビエ5葉期 但し、収穫60日前まで	1kg	本剤:1回 ダイムロン:2回以内 ペノキスラム:2回以内	

*収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

※1 農業・食品産業技術総合研究機構「飼料用米の生産・給与技術マニュアル」で、農業残留の低減措置が必要ない農業として記載されています。

※2 日本草地畜産種子協会「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」で、使用できる農業として記載されています。

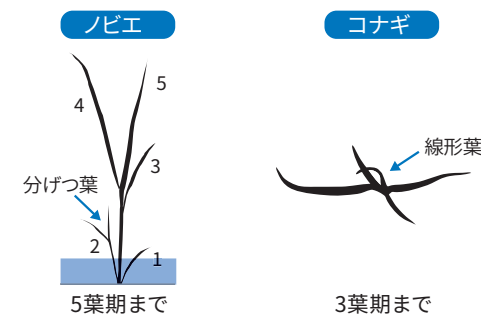
使用時期と防除体系例 (移植水稻)



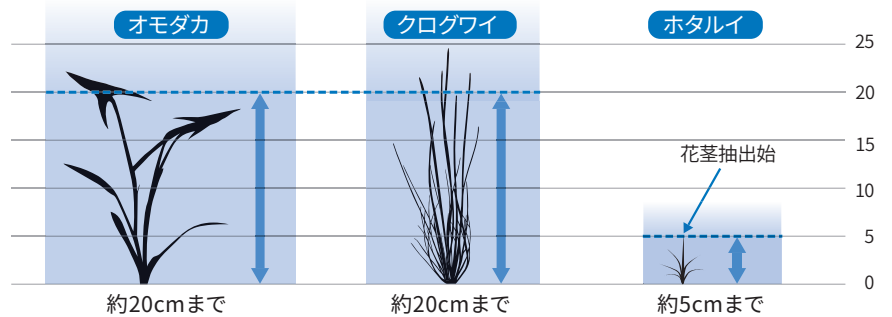
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布してください。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布するように注意してください。

主な雑草の防除目安

葉齢を防除目安とするとよい雑草

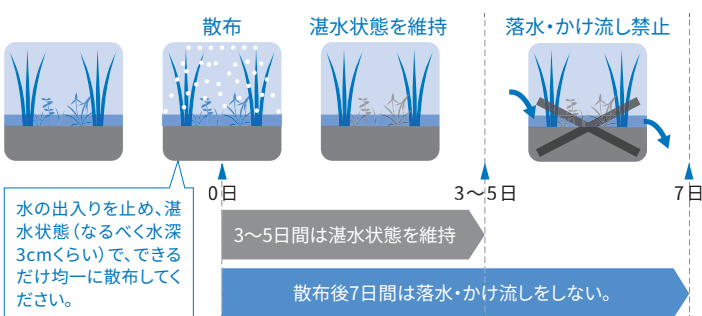


草丈を防除目安とするとよい雑草



- クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイ防除は、それぞれの雑草に有効な前処理剤との組み合わせで使用してください。
- クログワイ、オモダカに有効な前処理剤と組み合わせることで連年施用することにより、さらに効果が向上します。

水管理のポイント



使用上の注意 (抜粋)

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 苗の植付けが均一となるように代かきを丁寧に行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行ってください。
- 散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避けてください。
- 処理後数日の高温で初期生育が抑制されることがあっても、一過性の現象で後に回復するので、生育への影響はありません。
- いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、隣接田では使用しないでください。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、ラベルの注意事項を守ってください。

- 使用前には、ラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

製造販売

ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号

山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2019年9月現在の知見に基づき、作成されています。